



鈴木 勝彦 議員

### 吉岡市政3期目4年間の 成果を問う

**問** 今後の行政・財政運営を取り巻く課題に、どのように立ち向かうのか。

**答** (1)当面の財政運営にあたっては、新型コロナウイルス感染症の対応に優先的にスピード感を持って取り組みます。

(2)将来に備えて、「財政支出の平準化」に心がけると共に、こうした難局を乗り越えるためには、行政だけの力ではできません、まちづくり協議会を始めとした地域の力が必要不可欠であります。今後も地域の力を継続、更に向上させていくためにも、何より「人」づくりが大切であり、市民と一丸となつてこそ、厳しい難局にも対応していけるものと考えております。

(3)新型コロナウイルス感染拡大に伴い、これまで築き上げてきた協働のまちづくりの根幹である「人と人のつながり」を揺るがすものであるが、この機を「新たなつながり方」と考えるチャンスととらえ、そして協働のまちづくりのあ

り方も再構築し、今一度、市民、地域、行政が、想いを共有し、力を出し合い、互いに連携・協働しながら、この難局を乗り越え成長していかなければなりません。

**問** 次期総合計画である第7次高浜市総合計画に、市長としてどのような思いで取り組んで行くのか。

**答** 社会情勢の移り変わりは早く、第6次の総合計画策定当初と比べて、外国籍住民の方の増加やデジタル化の進展、加えて新型コロナウイルス感染症への対応など新たな課題は待たなして発生しています。そうした新たな課題を解決し、新たな時代を創っていくためには、これまで培ってきた思いやつながりをしっかりと次の世代に引き継いでいかなければならないと思っております。議会を始め、市民の皆様にご理解、ご支援をいただけるのであれば、延長された第6次高浜市総合計画の推進、そして市民の皆様との第7次高浜市総合計画の策定を通じて、高浜市の新たな「人」を、「未来」を育み、市民の皆様が幸せな日常を過ごして行けるよう、私も準備していきたいと思っております。



柴田 耕一 議員

### 「プレミアム商品券事業」 の成果について

**問** プレミアム付商品券事業の実績や成果について。

**答** 第1回目の事業では、市内全世帯1冊を対象に「商品券の購入申込書」を郵便局による配達で20,067世帯、また、世帯分離などの

理由による商工会窓口配布382世帯、計20,449世帯に配布した。

当初の商品券販売状況は、市役所、吉浜公民館、Tポートにて9,689冊を販売、余った商品券1万冊を第2回目事業として追加販売し、1世帯1冊から1人1冊へと見直し、希望する多くの市民の皆様が購入できるよう往復はがきによる応募抽選方式とし、11,920通の応募の中から、抽選の結果、1万名の皆様に応選はがきを郵送し、Tポートにて、9,944冊、計19,633冊を販売した。

**問** 1冊6千円、実に1億1千8百万円分地元の商店で消費されたことになるが、取扱店として登録された店舗数と商品券で買物された店舗数は。

**答** 取扱店として、スーパー、薬局、コンビニ、飲食店、食料品販売店、家電販売店、理美容店等142店舗が登録され、112店舗で利用され、大手スーパーだけでなく、地元小売店舗においても、多くの利用があった。

**問** 市民及び取扱店舗からどのような意見があったか。

**答** 142店舗中73店舗から回答があり、売り上げの変化について、3割を超える店舗で「売り上げが増えた」、また、消費者の反応については、7割を超える店舗で「好評」との回答があり、プレミアム率や商品券額面においても、約9割の店舗で適切であったとの評価をいただいた。

**問** 今後も、市民への家計支援及び市内事業者支援を行い、特に飲食店、小売店等の活性化と消費拡大につなげる「誘い水」を実施してほしいが。

**答** 今後も、市内事業者の皆様の声聞き、商工会と連携を図りながら、感染の状況や地域の経済動向を見極めたうえで、必要な支援をタイムリーに実施していきたいと考えている。